

第2回 吹田市健都オープンイベント等企画・運営業務
委託事業者選定会議 部会 議事要旨

1 日時

平成31年3月26日（火）13時20分～15時05分

2 場所

吹田市役所 中層棟4階 全員協議会室

3 出席者

平野部会長、松永委員、北口委員、国領委員

4 案件

- (1) 第2次審査（提案内容に関する審査）について
- (2) その他

5 議事概要

(1) 次第及び資料に基づき、事務局から説明した。

(2) A社の提案内容に関するプレゼンテーション及び質疑応答を行った。質疑応答のやりとりは以下のとおり。

【委員】

メディアを活用されるところが強みだと思うが、効果という点でたとえば視聴率はどの程度か。

【事業者】

ビデオリサーチが調査していないので数字は出せないが、自社調べでは、地上波のU局（ネットワーク系列に属さない独立放送局）と同等程度を見込んでいる。

【委員】

提案の告知方法等で、集客目標を達成することが可能なのか。

【事業者】

天候にもよるが、ロハスイベントやご当地バーガーフェスティバルで集客を見込んでいるので可能。

【委員】

雨天時は中止になるのか。保険に加入して延期という選択肢はないのか。

【事業者】

小学校の体育館を使いたい。前日から準備を行うので延期は不可。

【委員】

ロハスやバーガーフェスと健康との関連性は。

【事業者】

無関心層へのリーチとしてまずは会場に来てもらうことが大事。来てもらってから健康増進のイベントに誘導していく。

【委員】

シンポジウムは、地域密着という視点だけでなく、もっと広域にPR する必要がある。提案の18 団体との接点はあるのか。

【事業者】

特にあるわけではない。想定される対象として提案しているだけ。

【委員】

見積額が1,284 万円で出精値引きをかなりすることで予定価格内に収めている。額が大きいので、値引きに関する考え方を教えてほしい。

【事業者】

利益を出すことは考えていない。自社で負担できる部分は企業努力で何とかしようという考え。

【委員】

空撮はシンポジウムの会場費がかからなければという条件付きだが、何かをやめて代わりに実施するという手法も可能か。

【事業者】

シンポジウムの経費を抑えてPR 動画のように実のあるところに費やすのがベターだと考える。

【委員】

業務終了後、またイベント以外でも、御社のメディアを活用した健康志向の番組を開催するなど、継続的な取組を行ってほしい。

【事業者】

地域メディアとしての使命だと思っている。何かあれば番組を通じてPR していきたい。

【委員】

健康増進イベントに関して、意識の向上や行動変容の観点で一番力を入れたものは。

【事業者】

ヨガ、ノルディック、健都ウォーク。

(3) B社の提案内容に関するプレゼンテーション及び質疑応答を行った。質疑応答のやりとりは以下のとおり。

【委員】

イベントでブランド米の試食会を提案されているが、健康増進にどうつながるのか。

【事業者】

吹田にはブランド米があることをまずは知っていただくこと、興味を持っていただくことが大事だと考えた。

【委員】

一過性ではなく継続性の観点でのイベント実施についてどう考えているか。

【事業者】

キッズチャレンジについては、あえて3、4年生を対象にしている。5、6年生だと中学でしたいスポーツがすでに決まっている。3、4年生だと今後継続することになるスポーツ選択のきっかけにしてもらえる。

【委員】

加入する保険の内容は。雨天時には当日急に雨天となった場合でも別の日に開催できるのか。

【事業者】

雨の際は、事前に設定した延期日で実施が可能になる。

【委員】

イベントの対象が子どもに寄りすぎている印象。生活習慣病予防や介護予防の観点は。

【事業者】

それらの観点は取り入れていないが、子どもの父母も対象にしている。

【委員】

運動スポーツに興味がある子どものみが対象になっている印象。また運動イベントについても、遊具の活用などもう一工夫欲しい。検討の余地はあるか。

【事業者】

申し込みの中で対象を広げることは可能。内容についても検討可能。

【委員】

イベント告知について、リーフレット代しか見積りに入っていないが、費用負担は。

【事業者】

他市実績では教育委員会に依頼し配布しており手数料等不要なので、負担は送料ぐらいなので、企業努力で可能。

【委員】

食育ミュージカルの対象についても、子どもを対象にしたものか。対象や内容について検討の余地は。

【事業者】

小学校低学年を対象にしたものだが、子どもが来れば祖父母も来る。テーブルゲームも実施するので、地元の高齢者の来場も期待できる。ただし、内容については、変更の余地があるので打ち合わせのうえ決めていきたい。

【委員】

シンポジウムの案内を大阪商工会議所と連携してされる理由は。ほかにも経済団体はあると思うが。

【事業者】

他にも団体があるが、セミナー等を毎日されているので潜在人数が多いものと認識している。それ以外の団体についても相談に応じて決めたい。

(4) C社の提案内容に関するプレゼンテーション及び質疑応答を行った。質疑応答のやりとりは以下のとおり。

【委員】公園でのイベント時の雨天対応について、一過性のイベントに終わらない市民の健康づくりの継続性について、ドローンを利用した空撮を提案いただいているが、直下に鉄道敷であるが落下の危険性等含め安全性についての3点についての考えを聞きたい。

【事業者】雨天時については、場所の変更が必要であると考え。近隣施設に協力をあおぐ必要がある。

継続性については、地元組織に協力を求めイベントに関わってもらうことでイベントの後にも繋げていきたい。

ドローンに関しては、現地での安全性の検証はできていない。映像の面白さや興味を引く仕掛けとして提案させていただいた。

【委員】エキスポシティでのイベントについて、アクセス的に集客は望めると思うが、エキスポシティ来客者における吹田市民の割合について把握しているか。市民限定のイベントではないが、吹田市民に一番訴求性のあるイベントとしたい。製薬企業に協力をいただけることで健都の印象が薄くならないか。市民へのメリットとなるような工夫を考えているか。

【事業者】この製薬企業は、特に企業をアピールしたいというわけではない。食生活の改善や女性の健康応援、朝食の重要性を知っていただくことで自社の活動につながっていくということはあるが、人々の健康に資する社会活動ができればいいという話をしている。健都が薄れるということではなく、健都の持っている今後発信していくべきことを一緒に考え、協力いただけるとのことで協同できたら面白いと思って提案した。

実際にエキスポシティ来客者の吹田市民の割合を調べてはいないが、吹田市民が一番多いと聞いている。その点では吹田市民にアピールしていけると考えられる。集客力の高いので、他の場所で開催するよりも同施設で開催することで多くの人に健都のことをアピールできると考えている。

【委員】人がたくさんいる場所で開催することで、関心のない方にも興味を持ってもらえるのは面白いと思うが、何か吹田市民へのメリットという仕掛けがあると更にPR力や継続性が増すと思うが、そのようなことは可能であれば検討していただけるか。

【事業者】ご相談のうえ、検討させていただく。

【委員】健康ダンス教室の集客見込み数が300人となっているが、1回何人で何回開催するというような計画は考えているか。

【事業者】何回かに分けて実施するので、ダンスだけだと1回50人くらいを考えている。

【委員】つまり1日6回のステージを開催するということが良いか。

【事業者】そのとおり。集客に関しては、ダンスだけでなくその他の仕掛けを考えてPRをし、300人を集客できるようにしたい。

【委員】健康チェックのアイデアはきっかけとして面白いと思うが、1時間あたり10名程度と割と少ない方への対応を予定しているが、これは専門的なスタッフがつくという前提でのことか。

【事業者】そのとおり。アドバイスをできるようにその人数としているが、健康チェックだけで、自分で結果を見てアドバイス等を展示パネルで確認してもらうということも可能。

【委員】エキスポシティのイベントについてだが、割と騒々しい環境になると思うが、そのような公共に近いような場所でのセミナーの開催実績はこの製薬企業にはあるのか。

【事業者】ある。場所もそのような場所ということで説明し、中身について相談していききたいとのことなので、協働できると考えている。

【委員】Yahooのディスプレイアドネットワークで見積上275,000円の費用を計上されているが、これでどれくらいの人に宣伝効果があると見込んでいるのか。

【事業者】10万人程度の人に見てもらえるとは思っている。上限を決めて、クリック数でカウントしていくので、単価が確定しているわけではない。

【委員】健康ダンス教室を提案いただいているが、提案書の資料では女性で高齢の方が参加いただいているようだが、実際今までの実績でどのような層が参加してきたのか。

【事業者】どちらかと言うと、女性の40代50代の時間のある方々が多い。講師は若い方向けではなく、中高年向けに健康エクササイズという形で行っているのでそのような層が多い。ダンスも若い方向けではなく、年齢層の高い方にも健康に意識していただけるようなダンスを取り入れている。

【委員】健康増進イベントについて、7月～11月と書いている箇所と9月～11月と書いている箇所があるが、違いはあるか。

【事業者】仕様書には7月～11月とあったが、暑い時期を避け、9月～11月の実施が良いと考えている。

【委員】例えば、エキスポシティのイベントを先に実施していただき、健都レールサイド公園でのイベントを告知し、そちらの参加へ繋げるようなことは可能か。その方が効果的にPRできると思うが。

【事業者】その方向で検討したい。

【委員】受注となった場合、食と健康のエキスポシティのイベントのところで、吹田市が取り組んでいるような内容を加える余地はあるか。

【事業者】ご相談のうえで可能だと思う。

(5) 事業者のプレゼンテーション及び質疑応答を終え、各委員から提案について、優れている点や留意すべき点などについて、意見交換を行った。

【委員】A社は、昨年の事業者かと思うが、地区の課題等を把握しており、それに伴った改善提案をされていたところは優れていた。集客の仕方については不安な点があるように感じた。

B社については、雨天時の対応ができている点、大阪商工会議所を通じた広報によりイノベーションパークに関心を持っていただけそうな業者に直接アプローチできる点は優れていた。イベントの提案内容が子どもの参加に特化したような内容で多世代が参加できるイベントという点で課題があるように感じた。C社については、提案内容に多様性があり、発注者側としては選びやすい。また、エキスポシティの光の広場を開催場所として提案していた点が集客力の点で優れていた。雨天時の対応及びドローンの利用について安全性の面で実現可能なのか不安に感じた。

【委員】全体をとおして、業務の計画や体制、緊急時の対策などは各社きちんできていていると思う。細部は事業者が決定してから詰めていく部分になるので甲乙つけがたいと思った。

シンポジウムに関しては、参加者の募集の工夫に差があったので、そこで評価差が出た。特にプッシュ型でやるという提案は比較的评价できると思う。幅広く募集することも必要かと思う。

健康増進イベントについては、参加者が継続的に取り組めることを意識したいと前回の部会でも出ていたが、単発の限られたイベントの中では提案が難しかったと思うが、各社あまりいいアイデアがなかった。その厳しい状況の中で、各社独自のコンテンツを生かした提案はあったが、対象者や分野が限定的で幅広い層に訴求できないような提案は少しマイナス評価となった。

【委員】どこも一長一短あったと思う。

A社については他の事業者にないメディア力が魅力ではあるが、ケーブル放送というのが、どれほど周知やその後に活用できるのかというのがはっきりと分か

らなかったのが残念ではあったが、他の事業者にはない強みであるというのは間違いなく、実績があるというのも強みかと思う。しかし、食のところで、ハンバーガーという健康とは真逆の志向であり、ロハスマーケットも集客が見込めるとは思うが健康とは少し違うように感じたのが残念だった。

B社については、内容が全体的にもう少し聞きたいところが多かった。アイデアとして吹田のお米「ひのひかり」など他にない着眼点だとは思ったが、準備が足りなかったように思う。

C社については、エキスポシティという発想が良いと思った。リクエストすれば、他にも対応はしてもらえそうだと思う。継続性という点では、唯一タオルを使ったエクササイズや正しい歩き方など持ち帰って自宅でできそうなことを少しは提案していただけていたように思う。

3社の良い点を集めたらすごく素晴らしいイベントになると思う。選ばれた事業者には可能な限り追加でやっていただけるような質問をしたつもりなので、努力してもらいたい。

【委員】この事業に対する意気込みはA社から一番感じた。それをどう評価するかが分かれ目になるように思う。

C社もしっかり考えているという印象を受けた。特に、一般の方が健康に関心を持つきっかけとなる数値測定やエキスポシティでの製薬企業とのタイアップイベントでのサンプリングなどは他の事業者にない発想だった。

B社については、集客面を考えると子どもが集まればその親や祖父母が呼び込めるというのは鉄則であるので間違っていないと思うが、それぞれの提案の練りこみが浅く評価がしにくかった。

共通して残念だったのが動画の提案について各社ともおざなりだった。150万円程度の予算を使ってやるのであれば、もう少しコンセプトが立ったような映像が作れるはずなので、どの事業者に決まっても再考してもらう必要があると思う。C社は唯一全体のコンセプトを決めていたが、A社B社にはなかったので、しっかりとコンセプトを決めてやり直してもらう必要があると感じた。

(6) 各委員の採点・評価を踏まえ、その結果を事務局が集計し、事業者選定会議に報告することについて、異議なく了承された。

以上